

# まるこやま

第74号

令和4年7月22日

〒699-1251  
雲南市大東町大東2419-1  
大東交流センター  
TEL(0854)43-2130



E-mail:daito-c@daito-center.org  
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

— 福祉委員会 —

2つの  
サロン



生活にちょっと癒しと潤いを

交流センターサロン「幸雲体操で筋活！」



いつまでもいきいきとした

生活を送れるよう

おもりを巻き付け

ゆっくりゆっくり



ねんりんセンターサロン「フラワーアレンジメント」

## 大東小学校開校150周年を迎えて

大東教育振興会会長 錦織 真澄



日頃から大東小学校、大東こども園の教育振興にご協力いただきありがとうございます。

さて、大東小学校は令和5年で開校150周年を迎えることとなります。記録によりますと、祥雲寺前の石碑に刻まれているように明治6年、祥雲寺において開校されました。

その後、明治15年に野田原に新築移転され、明治25年7月には現在の地に校舎が新築されました。

近年では、少子化の流れの中、平成23年4月に塩田小学校と統合され、平成26年4月に久野小学校と統合され現在に至っています。

令和4年度を迎えて、学校、PTA、自治振興協議会、市議員、教育振興会の方々から150周年の記念事業を実施しようという機運が高まり、「開校150周年記念事業準備委員会」を立ち上げました。準備委員会では、コロナ禍で、まだまだ

通常の行事が行いにくい状況を考えて、式典ではなく、子どもたちに喜んでもらえる行事を企画したいと考えています。予算も限られていますので、皆様のご意見をいただきながら150周年を迎えたいと思います。

最後になりますが、大東小学校をここまで支えてくださった地域の皆様、PTAの皆様、行政の皆様、教職員の皆様に深く感謝申し上げるとともに、子どもたちの健やかな成長を祈ります。



明治25年に現在地へ校舎移転



## コロナ収束と祭り再開を願って

大東七夕祭保存会会長 高橋 雅彦

皆様には日頃から400年以上続く「大東七夕祭」の継承及びご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、令和2年2月頃から新型コロナウイルス感染が瞬く間に全国に広がり、多くの感染者と犠牲者を出しました。感染防止のため人々の移動抑制、学校の休校、各種イベントの中止など社会全体が自粛状態になり、「大東七夕祭」も一昨年、昨年と中止せざるを得ませんでした。従来での祭りは断念することにしましたが、8月6日の七夕祭りを忘れないためにも各家庭の軒先へ笹竹飾りやスイカ提灯を飾り、商店街には大笹飾りや大提灯を飾るなど、宮ごとの取り組みにより七夕祭りの雰囲気を高めていただきました。また、インターネットで呼びかけ、全国・海外から集まった願いを短冊に書き、大笹に飾ったり、関係者を中心にネット会議を開き、各地から参加いただいた皆様と七夕祭りの意義について話し合いました。

今年も依然として続くコロナ禍の中で本来の形での祭りは断念しましたが、3年間も伝統行事を中止することは、子どもたちへの伝承や伝統行事の継続

も心配されることから、コロナ対策を十分した上で、宮飾り、笹竹飾り、山車などを準備して、それぞれの宮ごとにできる限りの七夕行事に取り組んでいただくことにしています。



大東七夕祭保存会としましては、来年こそは再び賑やかな「大東七夕祭」が実行できる事を願いながら、この町の貴重な財産である伝統行事の保存、継承に取り組んでまいりますので、今後とも皆様方のご支援をいただきますようお願い申し上げます。



にがおえで  
こんにちは!

## 大東といえは「赤川ほたる」

赤川ほたる保存会事務局 細田 早苗



(絵:大東町東町北 細田 滋)

昭和58年4月に赤川ほたる保存会が発足し来年40周年を迎えます。

私達の団体は、「自然保護を通じて観光事業を推進する団体」として、個人会員160名・団体会員12団体の皆さんからの会費と雲南市観光協会等からの補助金で運営しています。

主な事業として、小河内自治会・神楽社中とタイアップした「ほたる観賞と神楽鑑賞バスツアー」の企画、役員による「ほたるの養殖」、しましん大東青友会様の多大なご協力と保存会役員による「赤川ほたる公園の清掃作業」、小中高校への「出前ほたる学習会」、年一度の「会報」発刊、ほたるの発生状況の問合せ・報道機関の対応などがあります。

6月の週末ともなると、朝から(県内外から)電話が……。今年は天候にも恵まれ3年振りに乗車人数を減らして「ほたる観バス」の運行ができました。「自然のほたるに感動した!」「神楽のお土産のお餅はすごく嬉しかった」「チャームなおじ様の解説はととても楽しかった!」など可愛い絵と共にアンケート葉書が返送されてきました。企画者としてはとても嬉しいお言葉です。

昨年度は、「光舞う町」の著作権を取得し、QRコードを裏表紙に記すなど今風に編集し直した保存会冊子「赤川ほたる」も増刷しました。また、「僕たちに何かできるお手伝いはありませんか?」と高校生さんが意欲的に立ち上がってくれました。ペライチのホームページ制作(現在管理も)、キャラクター制作、地元の小中高校・当会員への自作クリアファイル配布など数々のPR活動に取り組み、その様子を「雲南スペシャルチャレンジ」で発表してくれました。また、赤川ほたるカレンダーを製作して雲南市内の学校や公共施設などに訪問配布してくれました。おかげで保存会への関心が高まったように思います。高校生さんに心から感謝です。

この歴史ある保存会の基礎を築いてくださいました恩田哲男様や筒井英雄様をはじめ諸先輩の皆様へ感謝するとともに、来年の40周年を節目としてさらに発展できるよう、微力ながらお世話できたらと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。

### 生涯学習委員会からお知らせ

#### 星空を見よう

夏の夜空には、たなばたまつりの舞台となる天の川はもちろん、夏の大三角形や、それをかたちづくるはくちょう座、こと座、わし座、また星座占いでよく見聞きする星座も輝いています。大東地域交流センターの屋上には、天体望遠鏡が設置されています。星空を見上げてみませんか。

期日: 8月3日(水) 午後7時30分~9時過ぎ **参加費無料**

(雨天の場合は4日に順延) ※コロナ感染状況により中止の可能性もあります。



#### 秋の企画 (予告)

今秋の企画からひとつ紹介します。コロナ禍中にある現在、詳細な案内までできませんが、状況を見てページング放送で案内しますので、どうぞお出かけください。

「大東の〇〇を知ろう!」(複数回に分けて企画予定)  
例えば地名の由来とか石碑のこと。100年前の大東の様子など、あまり専門的にならず「知って楽しむ講座」にします。



#### 観測史上初の「6月中」梅雨明け

6月28日に九州北部、四国、中国、近畿、北陸が梅雨明けしたと気象庁が発表。その後も連日の猛暑日(最高気温が35℃以上)地球温暖化の影響による異常気象が相次ぐ中、私たちひとり一人が具体的な脱炭素社会づくりに取り組まねばなりません。(雲南市は6月議会で脱炭素社会に向けた取り組みを宣言)

## 全国からのお便り



### 年を重ねて

東広島市

今岡 光範 (西本町出身 73歳)



6年前にも寄稿させていただきましたが、大東地域交流センターのご厚意で「まるこやま」をその後も送っていただき、とても感謝しています。大東町の皆様の生き生きとした様子を拝見する度に懐かしさがこみあげてきます。

3年前に退職し、役目を失くしたところにコロナ禍が始まり、帰郷もかなわなくなり、旧大東町役場の跡や新しい雲南病院の建物をまだ拝見できません。物忘れ、勘違い、視力・聴力や足腰の衰え、高血圧、前立腺肥大などを除けば、何とか普通の生活を続けており、団塊世代の老人として、まだしばらく世の中のお荷物になりそうです。

大東高校を卒業し広島大学に入学して以来、和歌山での20年間をはさんで、広島での暮らしが35年になります。今住んでいる東広島市は、広島市の東隣りにある人口19万人ほどの市で、広島大学や近畿大学などがあって若者も少なくなく、外国人も7千人以上住んでいるという、地方ではめずらしい発展途上の市です。目玉は賀茂鶴酒造などの酒作りの名所ということです。また、大創産業(ダイソー)の

発祥の地でもあります。地元の人々は素朴で親切な人が多く、その点、大東によく似たところがあります。

高齢化に伴い、東広島市でも社会福祉協議会などを通して、シニア世代の社会参加と福祉の推進を図る各種の取り組みが展開されています。退職後、私にも何かできることはないかと思ひ、市内のある地域センターで「生活に役立つ数学」と題した講座を年一回やらせてもらっています。参加してくれるのはシニア世代です。館長さんが大変協力的で、知的好奇心はいつまでも大事だと言ってくれます。数式はほとんど使わず、直観的に分かり面白いと感じてもらえる題材の準備は大変ですがやりがいがあります。私は逆に書道講座で年配の先生に教えてもらっていますので、シニア世代の相互扶助活動に少しだけ参加していると考えています。

お酒の名所に住んでいますので、休肝日は設けず、ビールかお酒は毎日欠かさず飲むようにしています。皆様はご用心ください。それでは、大東の皆様、乾杯!!



酒蔵通り

大東図書館だより

## 「上代タノ先生資料展」 はじまる



大東図書館では、6月21日～7月17日まで「上代タノ先生資料展」を開催しました。

展示した資料は、大東町の女性の集い様よりお借りし、展示については雲南市男女共同参画センターにお世話になりました。

また、古代鉄歌謡館名誉館長高橋勲氏より、日本女子大学、また上代タノ先生の資料8点をご寄贈いただき合わせ展示をしました。

展示期間は終わりましたが、大東図書館には常設展があります。

### お知らせ

夏休みは図書館へいこう!! 奥出雲多根自然博物館×図書館コラボ企画第2弾「自分だけの鉱物図鑑をつくろう!」子ども向け企画ですが、大人のかたも、鉱物の世界を見て、感じてください。ご家族どうぞ!

○期間: 7月26日(火)～8月30日(火) ○開館時間: 10:00～18:00

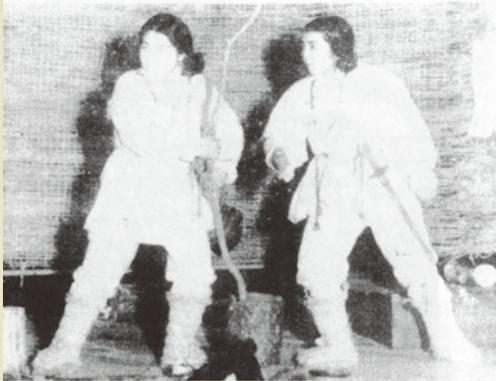
○休館日: 毎週金曜日・祝日・月末 ○電話: 0854-43-6131



ハートフルロードボランティア大木原  
(平成21年3月結成・会員47名)  
土地区画整理、道路網の整備、公共施設の集積等でまちの中心となった大木原。年6回程度のボランティア作業で快適に住みよいまちづくりに取り組んでおられます。

## 「石川文化劇場」で公演した大東高女演劇部

西町 青木 愛治(元大東高校教員)



本紙『まるこやま』第73号(令和4年5月22日)での浜田富次氏のご説明にあるように、「大東オリエンタル劇場」が開設される前は「石川文化劇場」として不定期に演劇の上演などが行われており、さらに、それ以前、アジア・太平洋戦争中はその建物は竹工場となっていました。島根県立大東高等女学校(以下「大東高女」)の上級生達は、昭和19年度の2学期以降、同工場での竹製の水筒作りに動員されていました。

「石川文化劇場」は終戦後の昭和22年の秋に開館し、その年の大東高女の演劇部による演劇発表会は12月に同劇場で開催されました。大東高女の演劇部は前年の昭和21年に創部されています。演目は、大正から昭和にかけて活躍した小説家・劇作家、山本有三による「海彦・山彦」でした。『古事記』の海幸彦・山幸彦の神話を戯曲化した作品です。

部員達は公演前は連日赤川河畔や加多神社の境内で発声練習を繰り返すなど、猛練習を積んで公演に臨んだそうです。演出は東京から疎開中であつた東宝映画の関係者で、いわばその方面のプロの方から指導を受けていました。

当時の大東高女の演劇部顧問は星野早苗という20代の若い先生でした。この先生は木次町に疎開していた元映画助監督より教えを受けて演劇活動に打ち込み、学校演劇を大東高女に根付かせることになりました。

同教諭は新制島根県立大東高等学校(以下「大東高校」)開校後も引き続き勤務して昭和24年に松江高校に転出、その後は萬波教(まんなみさとし)教諭を中心に演劇部の指導が続けられました。萬波教諭は大東高校の校歌の作詞者で、また、校章の考案者です。芸術や文学などに造詣が深く、在職中は生徒達から「言葉の魔術師」と呼ばれ、大東高校転出後は県立図書館での勤務を経て文部省(現文部科学省)に入省されたとのことでした。

大東高女演劇部を前身とする大東高校演劇部は、その後、ユニークな演技指導で知られた落合行雄教諭らのもとで着実に力をつけ、県内の高校でも有数の演劇部となり、昭和59年度には中国高等学校演劇協議会会長賞、61年度には広島市長賞を受賞するなど、高校演劇部の中国大会をはじめ多くの舞台上で公演を重ねて好評を博し、当地域の文化の振興にも寄与しましたが、平成20年度以降は部員ゼロの状態が続き平成27年度に廃部となりました。広島市長賞を受賞した、ミュージカル仕立ての「プレーメンの音楽隊」(原作：グリム兄弟、脚色：大東高校演劇部)は、楽器の生演奏にのせて歌い、踊るダイナミックな舞台が高く評価され、当時を知る人達の間では今でも語り草となっています。



6月26日(日)に今年度第1回目の「丸子山公園清掃活動」が行われ、一般参加者や大東小学校児童・保護者、大東左官工友会員など40人余りの皆様が清掃に汗をかきました。

丸子山は古くから桜とお茶の名所として親しまれるとともに、世界の恒久平和を願うシンボルの女神像が建立されています。清掃活動を呼びかけている「丸子山を愛する会」は、こうした豊かな自然と、歴史ある丸子山を後世に伝えていこうという強い思いを込めて結成され、今年で17年になります。このような愛護活動により、これからも子どもたちのまなびの場として、また、四季を通じて楽しめる公園として多くの人が訪れることでしょう。



なんば ゆきお  
**難波 幸夫さん** (東町下自治会)

人生百年時代、百歳まであと〇〇年、「生涯現役で！」とまるで青年のように幅広い分野でご活躍中の難波幸夫さんに話を伺いました。

**Q 沢山の要職をこなされていますが今一番力を入れて取り組んでいることは何ですか？**

そうですねー、全て大切な仕事をさせていただき感謝をしています。  
遺族会については、私は3歳の時父を戦争で亡くし、母親が女手一つで育ててくれました。  
多くの近所の方や父親代わりの仕事をして頂きました。皆様方に感謝とお礼を果たすべく頑張っています。「戦争ほど悲惨なものはない。戦争ほど残酷なものはない。」身をもって体験しています。遺族会は平和を求める活動、平和を訴えることを目的にしています。  
平和学習にも力を注ぎ、戦争を知らない子どもたちが多くなってきた中で、戦争の悲惨さ、平和の大切さを話し続けています。勿論これからも続けていきます。  
ロシアのウクライナへの理不尽な侵攻は許されるものではありません。  
丸山公園忠霊塔前の許し(ゆるし)の花アサガオは中国撫順戦犯管理所から平和を願って贈られたもので毎年綺麗な花を咲かせてくれます。大切に育てていきたいですね。

許しの花が咲くにつけ戦争のない平和な世の中が続くよう祈りたいですね。

**Q 島根県老連大東支部長、大東明寿会会長としても手腕を発揮されていますが、**

前会長の意思を継ぎ「健康で長生きの現役高齢者」を目指し微力を傾注しています。  
全般的に加入率が減少しつつあり懸案事項ですが何とか会員を増やし穏やかで楽しい人生を過ごせるようにと色々な事業に取り組んでいます。  
コロナのこともありますが「お楽しみ大会」や「レクリエーション大会」など皆が集って楽しめるものを復活させたいですね。奉仕活動だけは例年続けており、施設の方には大変喜ばれています。  
歌謡教室や文化的な集いもあります。どんどん参加してほしいですね

コロナに負けず一発カラオケ大会でもやってみませんか？

**Q 趣味の話も聞かせてください。**

先ずハーモニカですかね。子どものころから音楽が好きで「長崎の鐘」に挑戦したけどなかなかうまく吹けなくてね。一生懸命練習したもんです。  
今はアンサンブルを組んだり、一人ででも福祉施設や病院等慰問し演奏しています。  
お陰で音楽療法士の資格もあるので患者さんの心を癒し、早い快復を祈っています。  
ハーモニカも30本持っています。音楽は心のふるさとですね。

音楽のノウハウにも詳しく、素晴らしい音感とハーモニカ30本の数にもビックリです。

俳句も楽しんでいます。「こふのとりの句会」や「大東支部句会」にも所属、80の手習いを致しております。句を考えるとあっという間に時間がたちます。

時々自作の句が新聞に掲載されると嬉しいもんでどんどん俳句意欲が増します。年を重ねるとこうした考える時間も大事だと思います。字が下手なので書道もやっています。

高齢になっても挑戦意欲は衰えません。凄い！

取材中「生涯現役で頑張ります。」そして「でもね全ては天まかせだね。」と笑います。中学・高校では剣道部で天下の大社高校先鋒をメン2本勝ち!! 島根県一となった実績も。その武道精神が今でも姿勢・態度・言葉の端々に伺われます。松江木次線バイパス期成同盟会の会長や経営支援エキスパート、高齢者IT達者にもなり、やることは盛りだくさん。「奉仕精神で感謝の連続です！皆様のご協力とご指導をよろしくお願いいたします。」と結びます。  
思わず私も「これから背筋を伸ばして前を見据えて頑張ります。」と答えてしまいました。

(記、西村 武)



**ご寄付に感謝致します**

- ・大東町(北町) 森脇 裕太様 (香典返し)
- ・大東町(大木原) 内田 富夫様 (一般寄付)

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

**■令和4年6月末現在の人口・世帯数**

【( )内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	36,047人 (-56人)	11,493人 (-27人)	3,427人 (+1人)
男性	17,388人 (-30人)	5,611人 (-18人)	1,656人 (-3人)
女性	18,659人 (-26人)	5,882人 (-9人)	1,771人 (+4人)
世帯数	13,632世帯 (+22世帯)	4,122世帯 (-6世帯)	1,276世帯 (±0世帯)
高齢化率	40.18% (-0.01%)	40.14% (+0.04%)	—

資料：雲南市HPより